

旧石器ハテナ館だより

せんとうき 尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に
に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館

史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館

神奈川県相模原市中央区
田名塩田 3-23-11
Tel.042 - 777 - 6371

平成 27 年 3 月 9 日
【第 26 号】

ミニ展示「古墳時代の集落」

3月29日(日)まで会期延長

田名塩田遺跡群では、旧石器時代だけでなく、縄文時代以降の暮らしの跡も確認されています。今回はその中から、古墳時代の集落から見つかった土器を中心に紹介するミニ企画展を開催しています。

普段の旧石器ハテナ館で見られる古墳時代の展示では、主に向かいの遺跡公園に復元・保存されている谷原 12 号墳と 13 号墳からの出土品を紹介していますが、現在それらは相模原市立博物館の企画展に出品中です。その谷原古墳群と何らかの関係があったと考えられる人々が暮らしていた 7 世紀の集落跡が、すぐ近くの八瀬川周辺（B 地区）で確認されています。

40 軒もの竪穴住居からは、多数の土器などが出土しました。これらの土器を見ていくと、当時この田名塩田に暮らしていた人々の生活が見えてきます。

この時代の竪穴住居の中には、粘土を混ぜた土を盛り固めて造る「カマド」という煮炊きの設備がありました。「カマド」周辺は現代のキッチンに相当します。私たちの家庭にも多種多様な調理器具や食器があるように、古墳時代の人々の家にも様々な土器があり、用途に

応じて使い分けていたようです。また、出土した土器の形を詳しく見ていくと、他の地域との交流があったこともわかります。今の静岡県や埼玉県などつながりがあったことをうかがわせる土器が見つかっていて、現代のような交通手段がなかった当時も、人や物の動きがあったことが推測できます。

このほかにも、^{かつせき}滑石製の勾玉など、これまで展示していなかった資料を紹介しています。この機会に、古墳時代の田名塩田に暮らした人たちに思いを馳せてみませんか？



古墳時代の住居から出土した土器

展示室で開催中

市内の市立中学校から応募のあった文化財保護ポスターと、旧石器ハテナ館で平成 26 年度に開催したイベントを写真等で振り返るコーナーの展示は、3月8日までで終了しました。

連続講座

「大昔の動物利用」

1月10日から2月7日まで、旧石器時代や縄文時代の人々と動物とのかかわりを考えるとともに、動物についても学ぶ全3回の講座を開催しました。

第1回は、「発掘調査からみた利用痕跡」と題した講義で、遺跡から見つかる動物の骨や、落とし穴などの狩猟の痕跡について学びました。

第2回と第3回は、麻布大学獣医学部の南正人准教授を講師に迎え、講義と体験を行いました。「動物の繁栄と淘汰 ～動物の声を聴く～」と題された講義では、近年食害などで問題になることの多いシカを例に、厳しい自然淘汰の中で生きる野生動物の生活や行動について、詳しく解説していただきました。

体験では、シカやイノシシ、サル等の頭骨やシカ

の毛皮などの実物にも触れながら、昔から人の周辺にいる動物についても学びました。また、普段は食べる機会の少ない鹿肉を調理しておいしくいただきました。このほかに、鹿皮を使ったストラップ作りも行い、動物利用の様々な方法を楽しみました。

この講座を通じて、昔の人々のように野生動物を身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。



南先生の講義



鹿肉のバーベキュー



鹿皮のストラップ

平成27年度 主なイベントのスケジュール

月	定例体験教室	イベント
4	19(日) 黒曜石で石器作り	
5	17(日) 河原石で石器作り	
6	21(日) 土器作り	6(土) 文化財探訪
7	19(日) 弓矢作り	20(祝) 昆虫観察会 25(土) 八瀬川探検と魚観察
8	16(日) 勾玉作り	
9	20(日) 土器作り	26(土) バスツアー
10	お休み	17(土) 旧石器ハテナ館まつり
11	15(日) 黒曜石で石器作り	29(日) 文化財探訪
12	20(日) 勾玉作り	
1	17(日) 埴輪作り	下旬～ ミニ展示
2	21(日) 編布作り	
3	20(日) 弓矢作り	

※日程は、変更になる場合があります。詳細は、旧石器ハテナ館に問い合わせいただくか、「広報さがみはら」や市のホームページをご覧ください。